

社 会

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい社会
17	教 出	小学社会
116	日 文	小学社会

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 目標の示し方	1時間ごとの学習問題の記載の仕方と具体例
		② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫	(第3学年) 地図帳の使い方の例 (第4学年) 47都道府県の名称と位置についての扱い (第5学年) 日本の位置と領土についての扱い (第5学年) 世界の主な大陸と海洋及び世界の主な国の例 (第6学年) 世界文化遺産の扱いと国の形成に関する考え方 (第6学年) 歴史上の人物の扱いと具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を高めるための工夫	導入の工夫と興味・関心を高める問いの例
		④ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	学習の進め方とその具体例及び体験的な学習を実施するための工夫
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤ 単元や資料等の配列、分量	単元の構成と分量、補充的・発展的教材の分量、地域事例の扱い
		⑥ 現代的な諸課題の扱い	(第4学年) 自然災害から人々を守る活動に関する内容の扱い (第5学年) 国土の自然災害に関する内容の扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑦ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	写真・地図・グラフ等の資料及び小単位における資料の種類と数
		⑧ 本文以外の記述の工夫	脚注・側注の扱い
		⑨ 資料読取りのための工夫	ユニバーサルデザイン等に関する配慮
(オ)	言語活動の充実	⑩ 調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫	新聞・地図・年表・レポートなどでのまとめ例と具体例
		⑪ 観察・調査や資料活用を通して収集した情報を基に、互いの考えを深めていくための工夫	収集した情報を基に、単元末等における話し合いや説明の活動を促す工夫と具体例

【社会】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①目標の示し方
方法	1時間ごとの学習問題の記載の仕方と具体例

	1時間ごとの学習問題の記載の仕方 (第3学年)	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きの左側に「つかむ」「調べる」「まとめる」等の学習過程とともに、「どのような～でしょうか。」「～しましょう。」等と記載している。 ○ 見開きごとに、1時間ごとの学習問題を端的にタイトルにして示している。 ○ 児童が疑問等を基に学習問題を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「わたしたちは、どのようなところで買い物をしているのでしょうか。」「スーパーマーケットについて気づいたことやぎもんに思ったことを話し合い、学習問題をつくりましょう。」 ○ 「よく買い物に行く店」 ○ 学習問題「スーパーマーケットではたらく人は、たくさんのお客さんに来てもらうために、どのようなくふうをしているのでしょうか。」
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「つかむ」「調べる」「まとめる」等の学習過程とともに、「どのような～だろう。」「～には、どうすればよいだろう。」等と記載している。 ○ 「次につなげよう」のコーナーを設け、「～はどうか。」「～しよう。」等のように、今後の学習につながるように記載している。 ○ 1時間ごとの学習問題を端的にタイトルにして示している。 ○ 児童が疑問等を基に学習問題を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家の人たちは、どのような店で買い物をしているのだろう。」「スーパーマーケットのくふうを調べるには、どうすればよいだろう。」 ○ 「店の中の様子はわかったね。はたらく人の様子はどうか。」「学習問題が決まったよ。どのようにかいついていくのか、計画を立てよう。」 ○ 「買い物はどこで」 ○ みんなでつくった学習問題「店ではたらく人たちは、お客さんによるこんで買ってもらえるように、どのようなくふうをして売り上げを高めているのだろう。」
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きの左側に「どのような～だろう。」「～は何だろう。」等と記載している。 ○ 見開きごとに、1時間ごとの学習問題を端的にタイトルにして示している。 ○ 児童が疑問等を基に学習問題を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家の人がよく買い物をするのは、どのような店なのだろう。」「たくさんのお客さんが、買い物に来るわけは何だろう。」 ○ 「買い物をしている店を調べる」 ○ 学習問題「スーパーマーケットに、たくさんのお客さんが買い物に来ているのは、なぜなのだろう。」

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	地図帳の使い方の例

地図帳の使い方の例 (第3学年)	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「教科書といっしょに地図帳も使おう！」において、地図帳の活用の仕方について示している。 ○ 「市の様子」の単元において、最初のページで学習のめあてとして「空から市の様子をとった写真や地図帳を見て、市の位置や気づいたことについて話し合ひましょう。」と示している。また、「まなびのポイント」として「写真や地図帳で、市の位置や様子をかくにんしよう。」と学習活動を提示している。「地図帳で調べると、福岡市は、福岡県の中で西がわにあるね。写真で見える島の名前もわかったよ。」とキャラクターが位置や様子等が地図帳で調べられることを説明している。「まなび方コーナー」を設け、「さくいんを読み取る」として、学習する場所を地図帳で探す手順を示している。 ○ 「店ではたらく人」の単元において、本文に、「ねふだやシールに地名が書いてあるね。」「それぞれの市や国がどこにあるのか、地図帳で調べてみよう。」「さまざまな品物の産地を地図帳で調べてみることにしました。」と示している。また、「学びのポイント」に「品物の産地やその国の国旗を地図帳でたしかめよう。」と学習活動を提示し、調べた産地をまとめた図を示し地図帳の活用の仕方について示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「店ではたらく人と仕事」の単元において、商品の仕入れを調べる資料として、「店がどこから商品を仕入れているのか、地図帳を使って調べました。次に、それらの産地を白地図にまとめました。」と、本文と調べた産地をまとめた図を示し地図帳の活用の仕方について示している。 ○ 「じょうほうを読み取る 地図帳を使って調べよう」において、本文に「地図帳には、さまざまな地いきの地図がのっています。知らない地名が出てきたら、まず地図帳を開いて、その場所を、たしかめるようにしましょう。」と示している。例として大阪府を取り上げ、「自然の山や川、鉄道や道路など、知りたいことを決めて地図を見るといいよ。」「色によって土地の高さを分けているよ。うすい色の場所はひくい土地で、こい色の場所は高い土地だよ。」と、地図帳の活用目的及び土地の高低についての地図の見方を示している。また、「さくいんの使い方」として地図帳の索引を使って場所を確かめる手順を示している。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「わたしたちの住んでいる市のようす」の単元において、「兵庫県には、ほかにどのような市や町があるかな。地図帳でしらべてみよう。」と、地図帳の活用の仕方について示している。 ○ 単元「店ではたらく人びとの仕事」の「品物の産地を調べよう」において、品物の産地を調べる資料として、「地図帳で産地の場所を調べて、白地図にかきこんでいこう。」と吹き出しで示すとともに、本文で「調べた産地を白地図にかきこんで産地マップをつくりました。」と、調べた産地をまとめた図を示し地図帳の活用の仕方について示している。 ○ 「学び方・調べ方コーナー 見る・調べる」において、「地図で調べよう」では、「地図帳には、日本や世界のさまざまな地いきの地図がのっています。」「調べたい場所の地図を見つけるには、さくいんを使うとべんりです。」と、地図帳の活用の仕方について示している。また、「地図帳の使い方」の「地図帳のさくいんの使い方」では、自分たちの住んでいる市を索引を使って調べる手順について、「地図帳の地図の見方」では、姫路市を例にページや記号、色分け等、地図帳の表記の特徴について示している。

【社会】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	47都道府県の名称と位置についての扱い

47都道府県の名称と位置についての扱い (第4学年)	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知っている都道府県を地図帳でたしかめよう」で、9つの都道府県について、写真と図で特色を例示している。 ○ 「日本地図を広げて」で、各都道府県の名称と位置、県庁所在地を示している。 ○ 「都道府県の特産品」で、各都道府県の特産品を地図中に絵で例示している。 ○ 「空から日本を見てみると」で、日本の海、山、川、湖等の地形を示している。 ○ 「都道府県の特産品」「空から日本を見てみると」で、いくつかの都道府県の形、特産品、特徴、県庁所在地などをカードにし、都道府県名を記入できるようにしている。 ○ 「この教科書に出てきた主な都道府県」で、いくつかの都道府県を地図上に示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の都道府県の区分」で、各都道府県の名称と位置、県庁所在地を示している。 ○ 「みりょくがいっぱい！知りたいな、47都道府県」で、特産物、祭り、観光地について19の都道府県に関する写真を例示している。 ○ 「47都道府県のクイズ大会を開こう！」で、クイズを作ることを促し、広島県について、文章で特色を例示している。 ○ 「この教科書に出てくる主な都道府県」で、いくつかの都道府県を地図上に示している。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の47都道府県を旅してみよう」で、都道府県の特徴を調べる視点となる写真を示している。また、「れんさんたちが調べた都道府県の特徴」で、食べ物、工芸品、工業製品、文化財、祭りなどについて19の都道府県に関する写真を例示している。 ○ 47都道府県の位置を示した地図を示し、カードに都道府県名を記入できるようにしている。 ○ 「教科書に出てきたおもな地名」で、いくつかの県・市・町・地域を地図上に示している。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	日本の位置と領土についての扱い

日本の位置と領土についての扱い (第5学年)	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図…日本の国土の位置、領土・領海の範囲、竹島、尖閣諸島、北方領土 ○ 写真…与那国島、択捉島、沖の鳥島、南鳥島、竹島、尖閣諸島、歯舞群島 ○ 北方領土の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の北東に続く歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島は、日本固有の領土です。ところが、80年ほど前に起きた太平洋戦争が終わった後にソビエト連邦が不法に占領し、その後もソビエト連邦を引きついでロシア連邦が占領しています。日本は、これらの島を返すように求めて、交渉を続けています。 ○ 竹島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・日本海にある竹島は、日本固有の領土ですが、70年ほど前から韓国が不法に占領しているため、日本は抗議を続けています。 ○ 尖閣諸島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・東シナ海にある尖閣諸島も日本固有の領土です。中国が自国の領土であると主張していますが、日本が有効に支配しており、領土問題は存在しません。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図…日本の国土の位置、領土・領海の範囲、竹島、尖閣諸島 ○ 写真…与那国島、択捉島、沖の鳥島、南鳥島、北方領土、竹島、尖閣諸島 ①北方領土の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・択捉島もふくめ国後島・色丹島・歯舞群島の、北海道の北東に連なる島々は、北方領土とよばれる日本の領土です。しかし、1945(昭和20)年、太平洋戦争が終わったあとソビエト連邦(今のロシア連邦)が不法に占領し、そこに住んでいた日本人は強制的に退去させられ、今にいたっています。日本は、北方領土の一日も早い返還をロシア連邦に求め続けています。 ②竹島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・島根県の竹島では、韓国が自国の領土であると主張し、不法な占拠を続けています。 ③尖閣諸島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県の尖閣諸島については、領土問題はないというのが日本の立場ですが、中国も自国の領土であると主張しています。 ○ (①～③に続き)日本は、これらの島々が日本の領土であることを相手国や国際社会にしっかり伝え、課題の平和的な解決に向けて、ねばり強く努力を続けていく必要があります。 ○ 「日本固有の領土、竹島と尖閣諸島」の特設ページを設けている。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図…日本の国土の位置、領土・領海の範囲、北方領土、竹島、尖閣諸島 ○ 写真…与那国島、沖の鳥島、択捉島、南鳥島、色丹島、竹島、尖閣諸島 ○ 北方領土の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・80年ほど前、第二次世界大戦ののち、ソビエト連邦は、択捉島やその近くにある国後島、色丹島、歯舞群島を占領しました。これらの島々は、北方領土とよばれ、現在、ソビエト連邦を引きついでロシアが不法に占拠しています。北方領土は日本固有の領土であるため、日本政府は、これらの島々を返すように、ロシアにはたらきかけ、話し合いを続けています。 ・北方領土は日本固有の領土だから、早く返してもらいたいな。 ○ 竹島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・日本海にある竹島は、日本固有の領土ですが、現在、韓国が不法に占拠しているため、韓国にくり返し抗議しています。 ○ 尖閣諸島の記述 <ul style="list-style-type: none"> ・東シナ海にある尖閣諸島は、日本固有の領土で、その領有については、問題がないにもかかわらず、中国が自国の領土であると主張しています。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	世界の主な大陸と海洋及び世界の主な国の例

	世界の主な大陸と海洋の例 (第5学年)	世界の主な国の例 (第5学年)
東 書	<p>「わたしたちの国土」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシア大陸、アフリカ大陸、オーストラリア大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、南極大陸 ○ 太平洋、大西洋、インド洋 	<p>「わたしたちの国土」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の国々 フランス、ドイツ、ロシア連邦、中華人民共和国、大韓民国、アメリカ合衆国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、ニュージーランド、オーストラリア、インド、サウジアラビア、トルコ、南アフリカ、エジプト、イギリス ○ 周りの国々 大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国、中華人民共和国、ロシア連邦、モンゴル、フィリピン
教 出	<p>「日本の国土とわたしたちの暮らし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシア大陸、アフリカ大陸、オーストラリア大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、南極大陸 ○ 太平洋、大西洋、インド洋 	<p>「日本の国土とわたしたちの暮らし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の国々 イギリス、フランス、ドイツ、ロシア連邦、中華人民共和国（中国）、タイ、インド、サウジアラビア、エジプト、ガーナ、南アフリカ共和国、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、アメリカ合衆国、メキシコ、ペルー、ブラジル、アルゼンチン ○ 周りの国々 ロシア連邦、モンゴル国、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）、大韓民国（韓国）、中華人民共和国（中国）、フィリピン共和国
日 文	<p>「日本の国土と人々の暮らし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシア大陸、アフリカ大陸、オーストラリア大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、南極大陸 ○ 太平洋、大西洋、インド洋 	<p>「日本の国土と人々の暮らし」に記載されているもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の国々 フランス共和国（フランス）、ドイツ連邦共和国（ドイツ）、イタリア共和国（イタリア）、エジプト・アラブ共和国（エジプト）、南アフリカ共和国（南アフリカ）、サウジアラビア王国（サウジアラビア）、インド共和国（インド）、ベトナム社会主義共和国（ベトナム）、中華人民共和国（中国）、大韓民国（韓国）、フィリピン共和国（フィリピン）、ロシア連邦（ロシア）、オーストラリア連邦（オーストラリア）、カナダ、アメリカ合衆国（アメリカ）、ペルー共和国（ペルー）、ブラジル連邦共和国（ブラジル） ○ 周りの国々 ロシア、モンゴル国（モンゴル）、中国、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）、韓国、フィリピン

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	世界文化遺産の扱いと国の形成に関する考え方

	世界文化遺産の扱い (第6学年)	画像で掲載されている世界文化遺産 (第6学年)	国の形成に関する考え方 (第6学年)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークで示している。 ○ 年表に世界文化遺産等を写真で紹介している。 ○ 「日本の世界文化遺産」のページで世界文化遺産を紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 法隆寺地域の仏教建造物(法隆寺)、古都京都の文化財(金閣、銀閣、東求堂、龍安寺の石庭)、姫路城、石見銀山遺跡とその文化的景観(石見銀山)、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群(沖ノ島)、明治日本の産業革命遺産(端島炭鉱跡)、琉球王国のグスク及び関連遺産群(首里城)、厳島神社、原爆ドーム、紀伊山地の霊場と参詣道(熊野古道)、古都奈良の文化財(大仏、正倉院、唐招提寺)、富士山-信仰の対象と芸術の源泉-、ル・コルビジエの建築作品-近代建築運動への顕著な貢献-(国立西洋美術館)、富岡製糸場と絹産業遺産群(官営富岡製糸場)、日光の社寺(日光東照宮の陽明門)、平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群(中尊寺金色堂、毛越寺の庭園)、白川郷・五箇山の合掌造り集落、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産(大浦天主堂)、百舌鳥・古市古墳群(仁徳天皇陵古墳)、北海道・北東北の縄文遺跡群(三内丸山遺跡) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 取り上げている資料 ・ 神話の中のヤマトタケル ○ 資料の記述内容 ・ ヤマトタケルノミコトは、武勇にすぐれた皇子でした。ヤマトタケルは、天皇の命令を受けて、九州へ行って、クマソを平らげ、休む間もなく、東日本のエミシをたおしました。ヤマトタケルは、広い野原で焼きうちにあたり、あれる海と戦ったりして、苦勞をしながら征服を進めました。ところが、都へ帰る途中、病気でなくなってしまいました。すると、ヤマトタケルのたましいは、大きな白鳥に生まれ変わって、都の方へ飛んでいきました。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びのてびき」で世界遺産を示すマークを紹介している。 ○ 本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークで示している。 ○ 年表に世界文化遺産等を写真で紹介している。 ○ 「日本列島 歴史の旅に出かけよう」のイラストの中で世界文化遺産を一部紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三内丸山遺跡、大仙(仁徳陵)古墳、法隆寺、唐招提寺、正倉院、厳島神社、中尊寺金色堂、金閣、銀閣、東求堂、龍安寺の石庭、石見銀山、日光東照宮、富岡製糸場、八幡製鉄所、原爆ドーム 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 取り上げている資料 ・ ヤマトタケルの話 ○ 資料の記述内容 ・ ヤマトタケルは、天皇である父の命令で九州におもむき、クマソをうちとりました。次に関東のエミシを従えるよう命じられました。ヤマトタケルは、その途中で、広い野原で焼きうちにあたり、荒れる海とたたかたりするような困難にあいながらも、関東を征服しました。しかし、その帰り道に、病気でなくなってしまいました。ヤマトタケルは、大きな白い鳥になって、大和のほうへ飛んでいったということです。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「教科書の中のいろいろなコーナー」で世界遺産を示すマークを紹介している。 ○ 本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三内丸山遺跡、大仙(仁徳天皇陵)古墳、法隆寺、東大寺の大仏殿、東大寺の大仏、正倉院、厳島神社、金閣、銀閣、東求堂、龍安寺の石庭、富岡製糸場、日光の社寺(日光東照宮、日光二荒山神社、日光山輪王寺)、原爆ドーム 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 取り上げている資料 ・ 『日本書紀』のヤマトタケルノミコトの話 ○ 資料の記述内容 ・ 昔、ヤマトタケルノミコトという武勇にすぐれた皇子がいました。皇子は、朝廷に従わない豪族をたおせという天皇の命令を受けました。皇子は、苦勞をしながら各地の豪族をたおしていきました。しかし、都へ帰るとちゅうで病気になり、都がある大和の美しい景色を思いうかべながら、短い一生を終えたということです。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	歴史上の人物の扱いと具体例

	歴史上の人物の扱い (第6学年)	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に例示されている42名の人物全て扱っている。 ○ 上記42名以外で扱っている人物 (写真や肖像画等で記載している人物) <ul style="list-style-type: none"> ・ 煬帝、棚田嘉十郎、北条政子、竹崎季長、前野良沢、大塩平八郎、坂本龍馬、津田梅子、与謝野晶子、夏目漱石、樋口一葉、新渡戸稲造、田中正造、平塚らいてう、市川房枝、渋沢栄一、山田少年、吉野彰 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 囲み資料 ○ 肖像、「学問のすゝめ」(写真) ○ 「学問のすゝめ」(文章) <p>福沢諭吉が書いた「学問のすゝめ」全17編は、340万部以上売れたといわれています。「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言えり」で始まるこの本には、人間は生まれながらにして平等であること、一国の独立は個人の独立にもとづくこと、個人の独立には、学問が必要なことなどが記されています。明治の新しい時代にふさわしいと思われる人間の生き方が書かれたこの本を、当時の知識人を中心とした人々は競って読みました。</p>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に例示されている42名の人物全て扱っている。 ○ 上記42名以外で扱っている人物 (写真や肖像画等で記載している人物) <ul style="list-style-type: none"> ・ 北条政子、竹崎季長、伊東マンショ、松尾芭蕉、塙保己一、大塩平八郎、徳川吉宗、坂本龍馬、青木昆陽、山口尚芳、岩倉具視、津田梅子、渋沢栄一、モース、フェノロサ、楠瀬喜多、与謝野晶子、田中正造、北里柴三郎、志賀潔、新渡戸稲造、山田孝野次郎、平塚らいてう、後藤新平、石川倉次、南方熊楠、杉原千畝、根井三郎、オバマ大統領、山中伸弥 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 囲み資料 ○ 肖像(出沒年) ○ 福沢諭吉と「学問のすゝめ」(文章) <p>江戸時代の終わりに中津藩(大分県)の下級武士の家に生まれた福沢諭吉は、家がらなどによって身分が決まるしくみはまちがっていると考えました。諭吉は、「学問のすゝめ」という本で、「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずといえり。」と書いて、人は生まれながらにして平等であり、学問をすることで身を立てていくべきだと主張しました。「学問のすゝめ」はたくさんの部数が売れ、新しい時代の中で、多くの人々に影響をあたえました。</p>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に例示されている42名の人物全て扱っている。 ○ 上記42名以外で扱っている人物 (写真や肖像画等で記載している人物) <ul style="list-style-type: none"> ・ 菅原道真、北条政子、竹崎季長、明智光秀、大友宗麟、ジャクシャイン、雨森芳洲、前野良沢、上杉鷹山、後藤新平、大塩平八郎、岩倉具視、坂本龍馬、徳川慶喜、山口尚芳、与謝野晶子、田中正造、北里柴三郎、津田梅子、平塚らいてう、山田孝野次郎、斉藤隆夫、山本五十六、島田勲、マッカーサー、湯川秀樹 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 肖像(生没年)(文章) <p>中津藩(大分県)出身で、下級武士の子どもでした。教育者としてかつやくし、『学問のすゝめ』という著作のなかで、「人はみな、生まれながらに平等である。学問にはげむことで、人は独立することができる。一人一人の独立が、やがて日本の独立につながるのである。」と書きました。</p>

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③興味・関心を高めるための工夫
方法	導入の工夫と興味・関心を高める問いの例

	導入の工夫 (第5学年)	興味・関心を高める問いの例
東 書	○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真で地球の様子や学習活動の具体を提示するとともに、キャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	○ 「わたしたちの国土」の導入ページ <ul style="list-style-type: none"> ・アジアを中心とした衛星写真、地球儀を使った学習活動を示している。 ・疑問に思ったことをキャラクターによる話し言葉で掲載している。(吹き出し数4) 「日本は地球のどこにあるのだろう。」 「世界の大陸や海は、どのようになっているのかな。」 ・下段に単元の学習のめあてを掲載している。 「日本の国土は、地球のどこにあり、人々のくらしは、どのようになっているのでしょうか。」
教 出	○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真や地図などで地球の様子や学習活動を提示するとともに、キャラクターや児童の話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	○ 「日本の国土とわたしたちのくらし」の導入ページ <ul style="list-style-type: none"> ・アジアを中心とした衛星写真、世界地図の一部、地球儀や地図を使った学習活動を示している。 ・分かったことや疑問に思ったことをキャラクターや児童による話し言葉で掲載している。(吹き出し数8) 「わたしの知っている国は、どのあたりにあるかな。」 「日本は、大きな陸地のとなりにある島国だね。」 ・下段に「次につなげよう」を掲載している。 「地球儀で世界の国々を旅してみようよ。」
日 文	○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真で地球や日本の様子を提示するとともに、キャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	○ 「日本の国土と人々のくらし」の導入ページ <ul style="list-style-type: none"> ・アジアを中心とした地球の衛星写真、日本の衛星写真を掲載している。 ・分かったことや疑問に思ったことをキャラクターによる話し言葉で掲載している。(吹き出し数4) 「日本は海に囲まれた島国で、大きい陸地の東側にあるね。」 「わたしたちの住むまちは、どのあたりにあるのだろう。」 ・上段に「見方・考え方」を掲載している。 「宇宙から見た地球のようすについて、地球の表面の色がちがいに着目して調べよう。」 ・下段に「学習のまど」を掲載している。 「日本の国土のようすを調べ、地形や気候から見た国土の特色や、地形や気候と人々のくらしや産業との関わりを考えていきましょう。」

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
方法	学習の進め方とその具体例及び体験的な学習を実施するための工夫

	学習の進め方 (第6学年)	具体例 (第6学年)	体験的な学習を実施するための工夫 (第6学年)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「政治・国際編」の最初の単元の中程に、見開きで「社会科の学習の進め方」のページを設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習の進め方を示している。 ○ 課題把握、課題追究、課題解決の学習過程については、単元ごとに「学習問題」を示し、問いを提示しながら「調べる」学習を進め、学習問題について調べて分かったことを整理し、「まとめる」というページを設けている。単元によっては、単元末に、学習したことを次の学習や生活に「いかす」、学習したことを基に、他の学習に「ひろげる」というページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本とつながりの深い国々」 ・ つながりの深い国について話し合い、学習問題を作る。 ・ つながりの深い国について調べる。 ・ 調べたことを話し合い、日本と似ているところと違うところを表に整理する。 ・ 学習問題について考えたことを意見文にまとめる。 ・ 学習をひろげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「今に伝わる室町文化」 「ひろげる」の学習の中で、「室町文化を体験して、レポートを書こう」というページを設け、茶の湯体験の様子と児童のレポートを例示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に、見開きで「社会科の学習の進め方」のページを設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という学習の進め方を示している。 ○ 課題把握、課題追究、課題解決の学習過程については、単元ごとに「みんなでつくった学習問題」を示し、「問い」と「次につなげよう」という項目を示して調べる学習を進め、学習を振り返る、「まとめる」というページを設けており、キーワードや視点を提示しているページもある。単元によっては、単元末に、「つなげる」「もっと知りたい」というページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本とつながりの深い国々」 ・ つながりの深い国について話し合い、学習問題を作る。 ・ つながりの深い国について調べる。 ・ 調べた国について、プレゼンテーションソフトでまとめて伝える。 ・ 整理したものを基に、みんなでつくった学習問題について、視点の例を示し、話し合う。 ・ 学習をひろげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「室町文化と力をつける人々」 「まとめる」という学習の中で、茶の湯と狂言の写真を提示し、茶の湯と能や狂言を外国から来た旅行者に説明する活動を設けるとともに、児童が室町時代の文化を説明している。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に、「社会科の学習の進め方」のページを設け、問題を追究していく過程を図式化している。「この教科書の使い方」のページを設け、「わたし(たち)の問題」「友だちの発言」「学習活動」「学習内容」「学習問題」「学習の計画」という言葉で、学習の進め方を示している。 ○ 課題把握、課題追究、課題解決の学習過程については、単元ごとに「学習問題」を示し、「問い」を提示しながら調べる学習を進め、これまで学習してきたことを基に、考えたことや調べたことを表現する活動を設定している。単元によっては、単元末に、児童が調べたいことや気になったことを取り上げる「未来につなげる」というページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本とつながりの深い国々」 ・ つながりの深い国について話し合い、学習問題を作る。 ・ つながりの深い国について調べる。 ・ 調べた国について、項目ごとにまとめ、表に整理する。 ・ 調べた国と日本を比べ、学習問題について話し合う。 ・ 更に考えたい問題を作り、調べ、話し合う。 ・ 学習をひろげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「今に伝わる室町文化と人々の暮らし」 「調べる」学習の中で、茶の湯を体験する児童の写真を提示している。

【社会】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑤ 単元や資料等の配列、分量
方法	単元の構成と分量、補充的・発展的教材の分量、地域事例の扱い

	サイズ	単元の構成と分量 (第5学年) ※補助・選択教材を含む	補充的・発展的教材の分量	地域事例 ※〈 〉は発展的教材
東書	ワイド	[上巻 116 ページ] ○ 国土 (60) ○ 農業・水産業 (58) [下巻 124 ページ] ○ 工業 (48) ○ 情報 (36) ○ 環境 (40)	[上巻] (12) [下巻] (14)	○ 国土 ・岐阜県海津市 ・群馬県嬭恋村 ・〈長野県飯田市〉 ・沖縄県 ・北海道札幌市、十勝地方、芦別市 ・〈秋田県横手市〉 ○ 農業・水産業 ※畜産業含む ・山形県庄内平野 ・〈福井県福井平野〉 ・鹿児島県枕崎市、垂水市 ・〈香川県〉 ・〈茨城県坂東市〉 ・〈福島盆地 (福島県福島市) 〉 ・〈宮崎県〉 ○ 工業 ・愛知県豊田市 ・〈長崎県長崎市〉 ・〈山口県和木町〉 ・〈広島県広島市〉 ・福井県鯖江市 ・東京都大田区 ○ 情報 ・〈長野県長野市〉 ・〈岐阜県下呂市〉 ・〈東京都品川区〉 ○ 環境 ・白神山地、青森県鱒ヶ沢町、秋田県大館市、北秋田市 ・京都府京都市 ・〈熊本県水俣市〉
教出	ワイド	[240 ページ] ○ 国土 (52) ○ 農業・水産業 (62) ○ 工業 (52) ○ 情報 (34) ○ 環境 (40)	(11)	○ 国土 ・沖縄県 ・長野県野辺山原 ・北海道 ・千葉県香取市 ○ 農業・水産業 ※畜産業含む ・新潟県南魚沼市 ・北海道根室市 ・鹿児島県長島町 ・〈岩手県一関市、宮城県気仙沼市〉 ・徳島県藍住町 ・高知県 ・岩手県岩手町 ・山梨県甲州市 ・熊本県阿蘇地方 ・〈大阪府〉 ・〈兵庫県明石市〉 ○ 工業 ・福岡県荊田町 ・大阪府東大阪市 ○ 情報 ・福岡県 ・佐賀県 ○ 環境 ・岩手県宮古市 ・高知県土佐町 ・福岡県北九州市
日文	ワイド	[274 ページ] ○ 国土 (60) ○ 農業・水産業 (68) ○ 工業 (58) ○ 情報 (44) ○ 環境 (44)	(10)	○ 国土 ・沖縄県 ・岐阜県海津市 ・北海道旭川市 ・群馬県嬭恋村 ・〈佐賀県〉 ○ 農業・水産業 ※畜産業含む ・山形県庄内平野 ・千葉県銚子市 ・佐賀県佐賀市 ・宮崎県都城市、えびの市 ・和歌山県有田市 ・高知県安芸市 ・高知県四万十町 ・〈神奈川県横浜市〉 ○ 工業 ・三重県鈴鹿市 ・茨城県小美玉市 ・千葉県君津市 ・愛知県知多市 ・大阪府東大阪市 ・〈広島県東広島市〉 ○ 情報 ・大阪府大阪市 ・京都府京都市 ・福岡県久留米市 ・〈栃木県宇都宮市〉 ○ 環境 ・奈良県川上村 ・三重県四日市市 ・大和川 (大阪府、奈良県) ・〈大阪府大阪市〉

※ () はページ数

【社会】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥現代的な諸課題の扱い
方法	自然災害から人々を守る活動に関する内容の扱い 国土の自然災害に関する内容の扱い

	自然災害から人々を守る活動に関する内容の扱い (第4学年)	国土の自然災害に関する内容の扱い (第5学年)
東 書	<p>【大単元の導入(2)、風水害(16) ※発展：地震(2)、火山災害(2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 千葉県内の自然災害を調べている。 ○ 千葉県内の風水害及び風水害によって起こる被害を調べ、学習問題を考えている。 ○ 千葉県内の風水害の歴史について調べ、過去の風水害対策についてまとめている。 ○ 県庁や市役所の人の話から、風水害に備えた県や市の役割や取組を調べている。 ○ 地域防災計画やハザードマップ、避難所運営委員会を取り上げ、市や住民による共助の取組を調べている。 ○ 風水害に備えた家庭での自助の取組について調べている。 ○ 風水害から私たちの暮らしを守る取組を、ノートに図でまとめている。 ○ マイ・タイムラインを作成し、風水害に備えて、自分たちにできる取組を考え、発表している。 	<p>【大単元の導入(2)、自然災害(12)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国の自然災害とその種類を調べ、学習問題を考えている。 ○ 地震が発生する原因と地震災害から人々を守るための備えや対策について調べている。 ○ 津波が発生する原因と津波災害から人々を守るための備えや対策について調べている。 ○ 風水害が発生する原因と風水害から人々を守るための備えや対策について調べている。 ○ 火山災害や雪害が発生する原因とこれらの災害から人々を守るための備えや対策について調べている。 ○ 自然災害と国土との関わりや防災の取組を表に整理し、地形や気候との関係、取組の共通点から考えたことをノートにまとめている。
教 出	<p>【大単元の導入(2)、地震災害・津波災害(16) ※選択：水害(12)、火山災害(2)、雪害(2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国の自然災害による被害を調べている。 ○ 静岡県内の地震や津波の歴史を調べている。 ○ 地震や津波に備えた取組を調べ、学習問題を考えている。 ○ 市役所の人の話やハザードマップを取り上げ、市の役割や情報伝達の取組を調べている。 ○ 避難地や津波避難タワーを取り上げ、地震や津波に備えた施設や設備を調べている。 ○ 自治会の人や地域の話から、夜の避難訓練や岩手県の取組等、地震や津波に備えた取組を調べている。 ○ 地震や津波に備えた取組をまとめ、これからの生活に生かすための標語を作っている。 	<p>【大単元の導入(2)、自然災害(12)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国で起こった自然災害とその種類、発生場所や発生回数を調べ、学習問題を考えている。 ○ 国土交通省の人の話や宮古市田老地区の取組を取り上げ、大津波から人々を守るための公共事業を調べている。 ○ 津波以外の自然災害について、国や都道府県、市町村の防災や減災の取組を調べている。 ○ 自然災害の発生とその対策について表にまとめ、自然災害との向き合い方を考えている。
日 文	<p>【大単元の導入(2)、風水害(18) ※選択：地震災害(6)、津波災害(6)、火山災害(4)、雪害(2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京都内の自然災害を調べている。 ○ 東京都内で起こった風水害の原因を調べている。 ○ 東京都内の風水害及び風水害によって起こる被害を調べ、学習問題を考えている。 ○ 地下調節池を取り上げ、風水害を防ぐ施設を調べている。 ○ 区役所や消防署、警察署の人の話から、風水害等の災害時の対応について調べている。 ○ メール配信サービスやハザードマップ、防災アプリを取り上げ、災害に備えた情報伝達のための取組を調べている。 ○ 避難所運営訓練を取り上げ、災害に備える取組を調べている。 ○ 災害に備えて自分たちにできることを考えてスライドにまとめ、その取組を発表している。 	<p>【大単元の導入(2)、自然災害(14)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国の自然災害とその種類を調べ、学習問題を考えている。 ○ 自然災害の発生場所や、発生原因を資料を基に調べ、日本が自然災害が多い理由を考えている。 ○ 東日本大震災を取り上げ、自然災害が人々の生活や産業に与える影響を調べている。 ○ 防災に関する情報やハザードマップを取り上げ、国や都道府県、市(区)町村の防災や減災の取組を調べている。 ○ 資料を基に、自然災害から命や暮らしを守るために自分たちにできることを考えている。

※ () はページ数

【社会】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑦本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方法	写真・地図・グラフ等の資料及び小單元における資料の種類と数

	使用されている写真・地図・グラフ等の資料 (第5学年)	小單元における資料の種類と数 (第5学年 我が国の工業生産)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真、絵図、国旗 ○ 主題図、地球儀、地形図、地図 ○ 棒グラフ、円グラフ、帯グラフ、折れ線グラフ、 雨温図、年表、表 ○ 新聞記事、ハザードマップ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 (56)、絵図 (18) ○ 地図 (1)、主題図 (6) ○ 棒グラフ (5)、円グラフ (5)、帯グ ラフ (7)、折れ線グラフ (1)
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真、絵図、国旗 ○ 主題図、地球儀、地形図、地図 ○ 棒グラフ、円グラフ、帯グラフ、折れ線グラフ、 雨温図、年表、表 ○ 新聞記事、ハザードマップ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 (83)、絵図 (23) ○ 地図 (1)、主題図 (9) ○ 棒グラフ (4)、円グラフ (5)、帯グ ラフ (5)、折れ線グラフ (3)、表 (1)
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真、絵図、国旗 ○ 主題図、地球儀、地形図、地図 ○ 棒グラフ、円グラフ、帯グラフ、折れ線グラフ、 雨温図、年表、表 ○ 新聞記事、ハザードマップ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 (47)、絵図 (24) ○ 主題図 (8) ○ 棒グラフ (4)、円グラフ (3)、帯グ ラフ (4)、折れ線グラフ (2)

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧本文以外の記述の工夫
方法	脚注・側注の扱い

	脚注・側注の扱い (第3学年)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のはじめに「めあて」の欄を設け、単元で学習するねらいを示している。 ○ 「学び方コーナー」を「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・つたえる」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。 ○ キャラクターを用いて、社会的な見方・考え方を働かせる4つの視点・方法を示している。 ○ キャラクターによる疑問の投げかけ、気づき、分かったことなどの吹き出しがある。 ○ 「まなびのポイント」により、学習のポイントとなる活動を示している。 ○ 「ことば」により、その時間のキーワードを示している。 ○ 「用語かいせつ」により、用語の解説を示している。 ○ 二次元コードにより、Web上に掲載されている導入の動画やワークシート、まなび方の解説動画、クイズなどを見ることができる。 ○ 「教科かんれんマーク」により、他教科との関わりを示している。 ○ 「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」により、学習の過程を示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元によっては、はじめに、キャラクターの吹き出しにより、単元で学習するねらいを示している。 ○ 「学びのてびき」を「集める」「読み取る」「表す」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。 ○ キャラクターによる疑問の投げかけ、気づき、分かったことなどの吹き出しがある。 ○ 「活動」により、その時間の学習の流れを示している。 ○ 「キーワード」により、その時間のキーワードを示している。 ○ 「かいせつ」により、用語の解説を示している。 ○ 二次元コードにより、Web上に掲載されている動画、ワークシート、補助資料、資料の読み取り支援、クイズ式教材を見ることができる。 ○ 「次につなげよう」により、次時の見通しを示している。 ○ 「SDGsとつなげて考えよう」により、学習内容とSDGsの目標をつなげて考えることを促している。 ○ 「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」により、学習の過程を示している。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のはじめに、「学習のまど」により、単元で学習するねらいを示している。 ○ 「学び方・調べ方コーナー」を「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。 ○ 「見方・考え方」により、社会的な見方・考え方を働かせる3つの視点・方法を示している。 ○ 「やってみよう」により、具体的な活動や活動のヒントを示している。 ○ キャラクターによる疑問の投げかけ、気づき、分かったことなどの吹き出しがある。 ○ 「キーワード」により、その時間のキーワードを示している。 ○ 検索窓のマークにより、用語の解説を示している。 ○ 二次元コードにより、Web上に掲載されている写真や動画、ワークシート、関連しているウェブサイトへのリンクなどを見ることができる。 ○ 「考えよう！SDGs」により、学習内容とSDGsの目標をつなげ、その課題や解決のための取組等を示している。 ○ 「脚注インデックス」で、その時間に身に付けたい力を示している。

【社会】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨資料読取りのための工夫
方法	ユニバーサルデザイン等に関する配慮

ユニバーサルデザイン等に関する配慮	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフや帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、データごとに色を変え、隣り合うデータは区切りを入れている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは区切りを入れている。 ○ 帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、データごとに色を変え、隣り合うデータは区切りを入れている。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフや帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、データごとに色を変え、隣り合うデータは区切りを入れている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変え、実線と点線で示している。

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑩調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫
方法	新聞・地図・年表・レポートなどでのまとめ例と具体例

	新聞・地図・年表・レポートなどでのまとめ例 (第3・4学年)	具体例 (第3学年)
東 書	<p>○ 絵地図、白地図、せんでんシール、ノート、見学カード、しつもんカード、表、標語、年表、図、地図、せんでんポスター、ポスター、キャッチコピー、グラフ、見学メモ、新聞、カード (第3学年)</p> <p>○ 白地図、図、年表、ポスター、4コマCM、しょうかいパンフレット、表、ノート、マイ・タイムライン、紙しばい、三角ポスト、感想文、レポート (第4学年)</p>	<p>くらしを守る</p> <p>1 火事からくらしを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図 (火事からわたしたちのくらしを守る人々のはたらきを図にまとめました。) <p>2 事故や事件からくらしを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表 (事故や事件からくらしを守るはたらきについて、表にまとめてみました。) ・標語 (火事や事故・事件からくらしを守るための標語をつくることにしました。)
教 出	<p>○ 絵地図、表、白地図、ポスター、買い物調べカード、買い物地図、グラフ、かんけい図、メモ、ノート、標語、安全マップ、道具調べカード、年表、絵カード、地図、作物カレンダー (第3学年)</p> <p>○ 地図、表、図、ノート、カード、標語、関係図、すごろく、キャッチコピー、ガイドマップ、ふせん、順位づけ(ランキング)、デジタル紙しばい、プレゼンテーション、年表 (第4学年)</p>	<p>地いきの安全を守る</p> <p>1 火事からまちを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白地図 (地いきの消防せつびを調べて、白地図にまとめました。) ・かんけい図 (火事からまちを守るしくみを、かんけい図にまとめました。) ・標語 (消防の取り組みの中から自分がいちばん大切だと思うことを標語にまとめ、発表することになりました。) <p>2 事故や事件からまちを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かんけい図 (事故や事件からまちを守るはたらきについて、かんけい図にまとめることにしました。) ・安全マップ (事故や事件が起こりやすい場所や、安全のためのしせつの場所などを調べて、地いきの安全マップをつくりました。)
日 文	<p>○ 白地図、ガイドマップ、表、見学カード、ノート、年表、カード、図、地図、メモ、ポスター、買い物調べカード、見学メモ、たんざくカード、標語、ワークシート、かんけい図 (第3学年)</p> <p>○ ノート、まとめカード、カルタ、人物カード、図、白地図、表、関係図、リーフレット、ワークシート、スライド、ハザードマップ、カード、紙しばい (第4学年)</p>	<p>安全なくらしを守る</p> <p>1 火事から人びとを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図・地図 (学校や地いきの消ぼうせつびのある場所としゅるいを調べ、①の図や③の地図にかき入れました。) ・カード (火事から安全なくらしを守るために自分たちにできることを考え、カードにまとめました。) <p>2 交通事故や事件から人びとを守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート (調べたことをふり返り、学習問題についてわかったことをノートにまとめて話し合いました。) ・図 (話し合ったことをもとに、出てきた考えを図にまとめながら意見を出し合いました。) ・ポスター・標語 (「さらに考えたい問題」について考え、ポスターや標語にまとめました。)

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑪観察・調査や資料活用を通して収集した情報を基に、互いの考えを深めていくための工夫
方法	収集した情報を基に、単元末等における話し合いや説明の活動を促す工夫と具体例

	単元末等における話し合いや説明の活動を促す工夫	具体例 (第6学年)
東 書	○ 単元末の「まとめる」の場面や、単元後の「いかす」の場面において、「説明しよう」「話し合おう」「発表しよう」などと提示し、学習した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象について説明や話し合いの活動を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を振り返り、新聞にまとめる視点について話し合う。 ・歴史上の人物の業績を表に整理し、それぞれの立場で当時の世の中について説明する。 ・文化の特色について話し合い、キャッチフレーズに表して、発表する。 ・歴史上の人物の取組の意図や目的を考え、世の中の様子について図に整理したことを基に、話し合う。 ・歴史上の人物の業績について説明する。 ・年表と歴史上の人物の業績とを結び付けながら整理し、世の中の変化や、その変化に影響を与えた人物について話し合ったり発表したりする。 ・学習問題について調べたことを人物カードに整理し、その中から1人を選んで、日本の地位向上に果たした役割について意見交換する。 ・歴史上の主な事象の世の中への影響を図に整理して、自分の考えをまとめ、話し合う。 ・一言コメントを付けた年表を基に、現在の社会に影響を与えた出来事を選び、その影響について文章に表し、話し合う。 ・カードで学習を振り返り、未来に生かせることについて話し合う。
教 出	○ 単元末の「まとめる」の場面や、単元後の「つなげる」の場面において、「説明しよう」「話し合おう」「発表しよう」などと提示し、学習した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象について説明や話し合いの活動を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中の様子と暮らしとの関係を図にまとめ、学習問題について話し合う。 ・学習した人物を振り返った後、その人物を手掛かりに当時の様子について発表する。 ・文化の特色を図にまとめ、外国からの旅行者をもてなすつもりで説明する。 ・歴史上の人物へのインタビューを行い、それぞれの人物になりきって答える。 ・当時の政策をカードに書き、効果の大きさを順位を付け、その理由を説明する。 ・学習した文化と他の時代の文化を表にまとめて比較し、特徴を短文に表し、説明する。 ・当時の政策について、重要度で順位を付け、その理由を説明する。 ・調べた出来事を年表にまとめ、当時の人々に伝えるつもりでラジオニュースの原稿を作り、発表する。 ・学習内容をリーフレットにまとめるために、グループで話し合う。 ・選挙権の広がりや振り返り、学習を通して考えたことの生かし方について、今の暮らしとのつながりを基に話し合い、意見文に表して伝え合う。
日 文	○ 単元末や単元後の「日本の歴史の学習を終えて」の場面において、学習したことをまとめたノートの例や児童が話し合っている様子をイラストで示し、学習した内容を活用し、歴史上の主な事象や社会的事象についての説明や話し合いの活動を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・調べてまとめたノートや資料を基にしながら話し合う。 ・学んだことを図に表し、その図を使って学習問題について話し合う。 ・学習内容をカードにまとめ、学習問題について意見を出し合う。 ・学習問題について話し合っ考えたことをノートにまとめ、学習を深めるために、友だちと話し合う。 ・文化の特色など学習問題について話し合う。 ・学習問題について話し合う。 ・学習内容について振り返り、学習問題について話し合う。 ・学習問題をノートにまとめ、話し合う。 ・時代の変化を年表にまとめ、学習問題について話し合う。 ・学習内容を新聞にまとめ、社会的事象の背景や影響について話し合う。 ・学習内容をノートにまとめ、学習問題について話し合う。 ・歴史の学習を振り返ってキーワードを設定し、現在とのつながりについてワークシートにまとめ、話し合う。